



西前小だより

横浜市立西前小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/nishimae/>



「自律」「対話」「創造」～子どもが育つ学校～

校長 鳥飼信幸

目にも鮮やかな新緑の季節を迎えました。草花の芽吹く様子は、健やかに成長する子どもたちを思わせ、教育の夢が広がります。

入学式・朝会で話した「自律」「対話」「創造」は、本校の教育目標をキーワード化した言葉です。ただの言葉ではありません。学習や活動、行事など、すべての教育活動で「子どもが育つ学校」にしていくための目標としています。(学校の主役は子どもであるので、子どもを育てる学校ではなく、子どもが育つ学校としています。主語が先生ではなく、子どもとしています。)

「自律」を育むためには、大人がなんでも介入しないことです。「この子のため」という行動が、実は自分で考えたり自分で決定したりする力が育たなくなってしまう。うまくいかないことがあったときに、自分で解決できなくなってしまう。人のせいにしてしまったり、自分はダメな人間だと思ってしまう人になってしまったりします。そんな人になってほしくないです。しかし、命に関わることやいじめ、差別、人権問題等は、未然に防ぐことも含め、大人の力が必要です。

次に「対話」は、ケンカが起きた時、「人はみんな違う」を前提に「対話」をするようにします。私たち学校では、「どうしたの?」「あなたはどうしたいの?」「なにを支援してほしいの?」と聞きます。子ども自らが自己決定をするようにしていきます。

「創造」は、未来の社会に向けた準備段階の場でもある学校として、日々の学校生活を通して、自分らしさを発揮し、未来の創造を目指します。災害やコロナによる孤立化・孤独化の問題など、将来を予測することが困難な時代だからこそです。変化に対応できる人になってほしいです。とはいっても3つの目標を達成することはとても難しいです。しかし、少しでも近づくこと、目指すことはできると思います。

「自律」「対話」「創造」に関して、2月に本校で研修をしてくださった横浜創英中学校・高校校長の工藤勇一先生のお話と一致しています。昨年度の3月号に掲載しました工藤先生はたくさんの著作がありマスコミにも紹介されています。また、教育再生実行会議委員など、国の会議にも出席されています。保護者向けの本もあります。ぜひ、読んでみてください(「麹町中学校の型破り校長 非常識な教え」他)。工藤先生は、学校改革で有名な校長先生ですが、なによりも一人の子を大切にされる先生です。私が尊敬する先生のお一人です。

私の子育ての失敗談を、今年度の入学式でもお話ししました。(昨年度とは違う内容です。)私は試行錯誤しながら「子育て」をしています。また、学校でも試行錯誤しながら「教育」をしています。私たち学校では「子どもたちを幸せにする」ために、日々奮闘しています。

「子育て」も、「教育」も正解がありません。だからこそ、「子育て」をがんばっている保護者、「教育」をがんばっている先生が、「子どもたちを幸せにする」「社会でよりよく生きていくことができるような力を身に付けていく」という願いをもち、お互い尊敬し合って、「子どもが育つ学校」にしていきましょう。ご相談はいつでもかまいません。

また、大人である私たちの行動を子どもたちは見ていることも感じています。子どもたちは、かかわる大人から大きな影響を受けます。それはまさしく、家族であり、先生であり、社会の大人たちです。私たちも「自律」「対話」「創造」を目標に、家族をはじめ、他者を大事にし、誰に対しても思いやりをもって接する大人や何事にも誠実に一生懸命に取り組む大人、ことの善悪を正しく判断しようとする大人、そして、社会の一員として担う責任を果たしている大人などにかかわる子どもたちは、必ず豊かな成長を遂げていくに違いありません。

よりよい教育には、よりよい大人の姿が大きな力となります。子どもたちにとって「素敵だな」と思われる大人になれるよう、私も努めていきます。

学校ホームページへのアクセスはこちらから →

